

2015年8月1日 発行 (VOL.144)

# みんなの広場NEWS

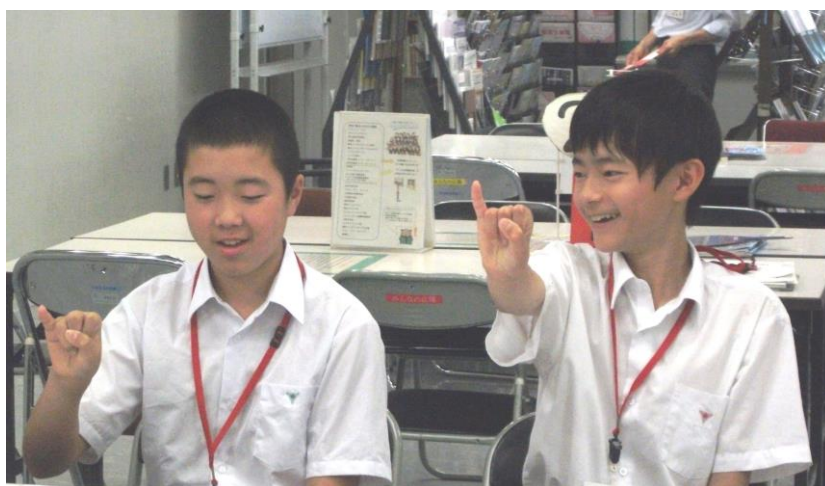


ちょうふくん

〒182-0026 調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり 11階  
生涯学習交流推進課 生涯学習情報コーナー TEL042-441-6112

市立第三中学校の2年生2人が生涯学習交流推進課で職場体験をしました(6月29日～7月3日)。その中で「手話基礎クラス」に「サークル体験」をし、感想文を書いてくれました。

僕は手話をするのは初めての体験なので、手でどのように話すのか、皆さんのスピードにしっかり追いつけるか不安でした。ですが実際にやってみると、考えていたよりも難しくはなく、しかも周りの皆さんが褒めてくれたり、違った所は優しく教えてくれて、僕も皆さんの輪の中にすぐ入れたので、分からなかった事があつたらすぐに聞くことができました。手話の形がなぜこのような形になったのかを説明してくれたので理解するのも速くて、その日一日でたくさんの手話を覚えることができました。



なので、あいさつや自分の自己紹介が手話でできるようになりました。この時間が一番学べて一番楽しい時間でもありました。このようにグループで楽しめたらいいとこの時間で学びました。(間中 太一)

自分は手話を保育園の時に少しやったぐらいしかなく、全然覚えていませんでした。なので、初めてやったようなものでした。「手話基礎クラス」の人達は、みんないい人ばかりで、手話の

成り立ちなどを詳しく説明してもらってとても分かりやすく、たった1時間ぐらいの体験で「あ」から「ん」と、「1、2、3、4、5、～千、万」やあいさつの手話をかなり覚えられました。

このサークル体験では自分の名前を手話でやったりもしました。すごく手が疲れたけれども、最後には、やる前よりもできる手話が多くなったので、良い学習ができたと思いました。(小野寺 溪太)



## 体験発表コンサートに参加して 岸野 龍雄（調布ハーモニカクラブ）

若い時から吹いておりましたハーモニカを、退職後は少し勉強しようと2002年に調布ハーモニカクラブ（現在13名）に入会しました。当会を選んだ理由は、合奏と独奏の個人レッスンを受けられることでした。当時は個人レッスンを行っている会はあまりなかった様に思いますが、わずかな時間でも非常に有効です。



当初は楽譜が判らず、苦勞の連続です。吹くよりもその方が大変でした。また、自己流が長かったので悪い癖が抜けきれず苦勞しました。今でもそれがあります。ハーモニカは吹き吸いで音が出ますが楽譜通りには音はなかなか出ないもので、練習以外にはないです。

JHAA（日本ハーモニカ芸術協会）の「標準ハーモニカ教本」を使って勉強します。先生

もJHAAに所属され、高度の技術を有しております。音に対しては非常に厳しい方々です。最初の先生がフランス留学のため1年で辞められ、現在はその後任の男性の先生です。バスハーモニカの名手で、合奏スタイルもバス・コードハーモニカを採用して四部合奏となり、充実を図って参りました。難しいですが皆で吹く楽しさがあります。

これまで合奏だけで参加してきた生涯学習体験発表コンサート（今年は3月22日）に今回は独奏もやってみようとのことで私が会長の指名を受け演奏しましたが、地元調布でハーモニカ界だけでなく様々な分野の皆様の前で演奏できたこと、また、少し年老いてからの勉強でなかなか思うようにいかず何度も壁にぶつかり挫折しましたが、入会后13年にわたり何とか続けてこられたことは先生方のご指導と会員の皆様のお蔭と感謝しております。これからも体の続く限り頑張りたいと思っております。

## 西裕会（書道）のサークル体験に参加して 湯本 初枝

4月になり新学期の気分を味わいたいと常々思っておりました。小学校1年生のころ母に勧められ、お習字に通ったのは62年前。

途中で良き書の師にお逢いできました。夢中になって筆と半紙に向かっていたのですが、その後中断してしまいました。ずっと20代より働いていますが、この1月から仕事を減らし午後が自分のことに使えるようになりました。市報でこの西裕会の体験（4月14日・28日）



を知り、公民館にやっと通えることとなりました。先生に教えて頂くことのワクワク感を、自分で味わうことが出来ました。月に2回、あとは自宅で事あるごとに筆に親しめそうです。先輩の方々にやさしいことばをかけていただき何とかやっていきたいと思い入会いたしました。作品作りに今努力しています。初めての生涯学習です。よろしく願いいたします。認知症予防になるような気がしています。

※写真などの「私のこの一枚(一品)」(記事)を募集します。生涯学習情報コーナーへお申し出ください。